

平成25年度九州国際大学 地域連携推進事業活動報告

地域連携推事業の一つである地域連携推進費に平成25年度採択された4件の活動について、ご紹介致します。

今後、地域連携センターホームページなどで活動報告書などについて、ご紹介していく予定です。

1. 「少子高齢化社会に向けた女性乗務員を活用したタクシー業務についての調査(八幡東区中心地域)」

少子高齢化に起因する人口減少やコミュニティの衰退にともなって顕在化している課題に対して、地域のタクシーに求められる課題は多い。そのためには、タクシーの女性乗務員の拡大、並びに女性の社会進出機会の拡大を進めて行く必要がある。まずは、地域住民の生活支援の移動を担う交通事業者について実態調査をする必要がある。

今回の調査テーマは、北九州地域で事業を営んでいるタクシー会社にタクシー業務の実態に関するヒアリングを行うことにある。

タクシー会社の乗務員を対象としたタクシー利用者に関する詳細なアンケートは、これまでに類がなく、タクシー会社の経営者にとっては非常に新鮮なものとして受け取られた。

アンケートの結果、目的地や移動時間を共有する複数の利用者による「乗合い方式」のタクシー運行に対する必要性が高いこと、さらに、高齢者や子供など交通弱者をターゲットとした生活支援移動サービスに特化したビジネスモデルが、潜在的利用者の拡大へつながることがわかった。

このビジネスモデルには、運転技術・社内環境・荷物運搬などへの気配りが求められており、女性ドライバーの活用の地域的意義を見出すことができた。

(提案団体名: 特定非営利活動法人 夢追いバンク・代表者: 理事長 岩科 健一)

(本学研究者: 地域連携センター 副センター長 神力 潔司)

※ 2ページ目に続きます。

目次

1	平成25年度九州国際大学地域連携推進事業活動報告	3	これからの予定(北九州市民カレッジ講座8月開講分) ・ 研究員紹介
2	平成25年度九州国際大学地域連携推進事業活動報告	4	これからの予定(九州国際大学市民講座・市民相談) ・ 人づくりが拓くまちづくりコラム

きゅうこむ“Kiu-Com”とは

九州国際大学(KIU: きゅうこむ)がコミュニティ(こむ)と連携し、「人づくり」「街づくり」に貢献しようという意図を表した地域連携センターの愛称です。

2. 「障害者の雇用をはじめとしたソーシャルファーム創出可能性の調査

—障害者施設などへのアンケート調査、並びにアンケートの分析を通じた研究報告書の作成と報告会の実施—

障害者雇用促進法が施行され、障害者の方々の就労機会そのものは拡大しつつある。しかし、「離職率」は依然増加傾向にあり、職場定着に関する「課題」は解決の途上にあるといえる。「ジョブコーチ」などはじめ、就労者を側面から支える第三者の支援制度があるなか、企業内部での受け入れ態勢や職場提供の整備も同時に考える必要がある。

そこで、従来からある「今の雇用環境」を整備する考え方と同時に、「新しい雇用環境(新しい事業体)」を生み出し、雇用のミスマッチを防ぐ仕組み作りができないか、企業側の意見をまとめ「課題」を見出すため、アンケートを実施した。アンケートは、北九州市商工会議所登録の企業(従業員規模150名以下)269社を対象とし、記名で回答頂いた企業担当者には、了解を頂いたうえで「インタビュー」を試みている。

報告書は九州国際大学社会文化研究所紀要に掲載し、報告会は平成26年3月14日(金)に九州国際大学サテライトキャンパスにて関心のある企業・一般の方々を対象に実施した。「調査報告会」に加えて「発達障害者就労支援」の基調講演として、発達障害支援研究所「たまや」高橋所長より頂いた。

(提案団体名: 一般社団法人 レグルスなな・代表者: 代表理事 松原 ゆかり)

(本学研究者: 法学部准教授 松本 幸一)

3. 「『黒崎nanoni らいぶらり♪マップ』」

副都心黒崎に近年設置された文化・交流拠点地区や再開されたコムシティへの来街者を商店街や街へ回遊させる具体策や、昼間の賑わい創出など街との連携は必須であるが課題は多く、なかなか街の活性化に繋がらないのが現状である。横のつながりを深め黒崎全体が一体感をもってまちづくり活動を行っていくことをイメージし、人づくり、仲間づくり、まちの賑わいづくりの機能として「タウンシップスクール」を2012年に設置し、大人の部活として活動をスタート。初年度はランチマップとして第1弾「きらめき編」と第2弾「ソウルフード編」を作成し各1万部を印刷し、来街者の増加に繋がった。印刷枚数を配布し終わった後も、入手したいとの要望があり、コムシティオープンに合わせ、各2万部、計4万部の増刷を行った。

2年目の活動を行うにあたっては、さらなる街づくり、賑わいづくりのために、第3弾として、大人の女性をターゲットとした黒崎の「ひと」「こと」「もの」にスポットを絞ったマップを作成した。

2014年3月末に1万部を発行し、配布活動はもちろん新聞などのメディアに広く広報をかけ、まずは多くの方々にマップを手にとっていただき、黒崎の街へ足を運んでくことで、来街者の増加、回遊性の向上、そして新たな街の魅力や、タウンシップの活動を知っていただく効果が期待される。

(提案団体: タウンシップスクール 黒崎マップ部・代表者: 顧問 池本 綾女)

(本学研究者: 経済学部特任教授 齋藤 貞之)

4. 「黒崎商店街で開催されるイベントへの企画参加」

経済学部地域づくりコースでは2年次秋学期配当の実習科目である「地域づくり実習Ⅱ」において、黒崎地区での商店街イベント参加を行っている。平成25年度は地域連携推進費の助成を受けて、10月19日(土)に熊手商店街を中心に実施された「黒崎こども商店街」に参加した。

こども商店街は商店街内店舗の店員に小学生がチャレンジするというもので、申請者の場合は常設店舗を持たないため、空き店舗を一日だけ借り受けて仮設店舗とした。また、参加学生はスタッフミーティングに7月より参加し、開催日前日の準備にも参加した。イベント当日は児童がいない時間帯もあったが、合計7名の児童が九国大店舗での実演に参加した。学生は品物の準備や会場の後片付けなどの後方支援や、子供たちの店頭業務のサポートなど、各自が責任を持って遂行した。

今回のイベントに準備段階から参加したことで、学生は商店街活性化の取組みがどういった人たちによって担われ、どのようなプロセスを経て実施されているのかを実践的に学習することが出来たと考える。また、イベントとしての一時的な盛り上げを、商店街の恒常的な活性化に結び付けるのが如何に難しいかという点も、今回の実習とこれに前後する商店街の視察などを通じ学生が考える契機となった。

(提案団体: 黒崎こども商店街実行委員会・代表者: 委員長 田中 大士)

(本学研究者: 経済学部教授 三輪 仁)

これからの予定 (北九州市民カレッジ講座8月開講分)

人づくり事業

●平成26年度前期「北九州市民カレッジ」8月講座受講生募集中

地域連携センターでは、平成26年度前期北九州市民カレッジとして8月に以下の2つの講座の開講を予定しており、現在受講生を募集しております。定員はいずれも30名です。申込者多数の場合は抽選で受講者を決定します。なお、お申し込み方法は、申し込み票(地域連携センターホームページに掲載)に必要事項をご記入のうえ、ファックスまたは封書で地域連携センター(連絡先は4ページ目をご参照ください)宛にお送りください。

■「ふくし家族信託を知る」

期間／曜日	講座名／講師名	時間／回数	応募締切	受講料
8月19日～9月16日 ／毎週火曜日	ふくし家族信託を知る ／松本 幸一ほか	19:00～21:00 ／全5回	8月5日 ／火曜日	4,000円

講座内容について

親が亡くなった後、障がいを持つ子どもの生活支援が課題となる中、高齢者や障害者の財産管理方法である「ふくし家族信託」制度はあまり知られていません。この講座では、「ふくし家族信託」について理解を深めるとともに、どのような場面で活用するとよいか、活用する場合にはどうしたらよいか、基本的な内容を学ぶことをねらいとします。障がいを持つお子さんのご家族をはじめ、「ふくし家族信託」へ関心を寄せる一般の方どなたでも受講できます。なお、講座進行の都合により、講座の順番を変更することがあります。

■「韓流ドラマで学ぶ『韓国語の世界』」

期間／曜日	講座名／講師名	時間／回数	応募締切	受講料
8月29日～9月26日 ／毎週金曜日	韓流ドラマで学ぶ「韓国語の世界」 ／森脇 錦穂	18:00～20:00 ／全5回	8月15日 ／金曜日	4,000円

講座内容について

韓流ドラマを教材に、ドラマの中のダイアログ、魅力的なフレーズを使って会話の練習をします。韓国ドラマや韓国語を一緒に楽しんでみませんか。

教材:「パスタ ～恋が出来るまで～」

2010年1月4日から2010年3月9日まで放映された20話のドラマ。

一流シェフを夢見る女性主人公が、イタリアンレストランを舞台に厨房見習いからシェフに成長するまでのひた向きな努力と愛のストーリー。主人公を取り巻く魅力的な登場人物たちの人間模様、軽快なストーリー運びもドラマの大きな魅力です。なお、今回は会話の練習を行うので、ハンゲルが読める方を対象としています。

研究職員紹介 宇都宮浩司(経済学部教授) 専門:外国史



いつから「地球は丸い」と実感できるようになったのでしょうか。コロンブスによって地球が平面世界でないことは明らかにされましたが、冒険家ではない「普通」の人々が実感できるようになるには、鉄道と蒸気船の技術が発達し、大西洋と太平洋の定期航路が北米大陸の大陸横断鉄道と接続されるまで待たねばなりません。このようなグローバル世界の誕生を演出し、ローカルな世界を激変させた鉄道と蒸気船をテーマに研究しております。

人づくり事業

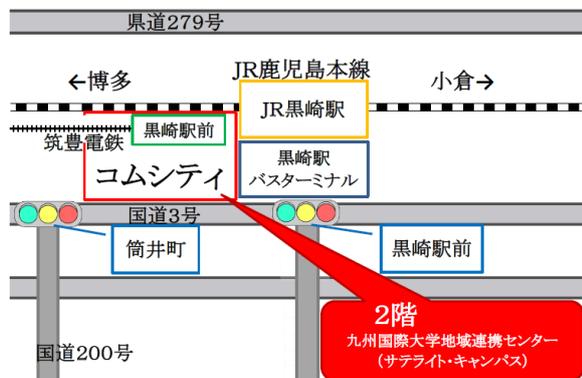
●九州国際大学市民講座・市民相談受講生募集中(無料・要事前申込)

現在個別受講のみ、申込可能です。各講義の開講日の1週間前までに申込書(地域連携センターホームページに掲載)に必要事項をご記入のうえ、ファックスまたは封書で地域連携センター(連絡先は4ページ目をご参照ください)宛にお送りください。

※都合により、日程、講座内容、講師などが変更される場合がありますので、予めご了承ください。

回数	開講日	講義名	主任講師名
8回	8月23日	借地・借家法の基礎と不動産鑑定評価	田中不動産鑑定士
9回	9月13日	破産法の基礎知識と債務整理について	中村司法書士
10回	9月27日	相続の基礎と手続きについて	三代司法書士
11回	10月11日	遺言について	山田司法書士
12回	10月25日	成年後見・高齢者の財産管理について	平田(輔)司法書士
13回	11月8日	労働時間の基礎と未払い賃金問題について	久野社会保険労務士
14回	11月22日	人生いろいろ、年金いろいろについて	倉守社会保険労務士
15回	12月13日	人事・労務トラブルとグレーゾーンの対策について	渋谷社会保険労務士
16回	1月10日	外国人雇用の実例・注意点と法手続き	長谷阪行政書士
17回	1月24日	会社・NPO法人に関する法知識と実例	長谷阪行政書士
18回	2月14日	発明の作り方について	平田(義)弁理士
19回	2月28日	境界と筆界・不動産取引の安全と円滑について	荒武土地家屋調査士
20回	3月14日	総括(まとめ)・閉講式	堀田学長・田中土業支部長

アクセス



人づくりが拓くまちづくりコラム

九州国際大学市民講座・市民相談を今年度より開催することになりました。毎月第2・第4土曜日を基本に年間20回と長期間に渡るにも関わらず、多くの方より通年受講でのお申し込みを頂きました。毎回、熱心に受講される方の向学心には、敬服いたします。

内容は、約1時間半の講座を行った後、受講生が直接、講師に個別相談する形式を取っております。

この講座・相談にご興味のある方は、個別受講のみ申込可能です。定員は若干名となりますが、皆様のお申し込みをお待ちしております。

編集担当: I

〈発行日〉 2014(平成26)年7月

〈発行〉 九州国際大学地域連携センター

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシティ2階

Tel:093-631-2203 Fax:093-631-2204

Email: chiiki@kiu.ac.jp

URL: <http://www.kiu.ac.jp/organization/rccenter/>